

第222話 達磨寺田植踊り その4 中山町歴史散策

達磨寺田植踊りの曲目と歌詞の続きです。

○綾（田植の表現）

□ 上

「ヤーレ姉だ。そう稼いで、気根も精根も続くまい。生睡なりとも腰うちかけて、こ真鍮の野郎ばりの煙管をもって、煙草の一、二服も飲んで、錦の袴でもたち織つて呉れることは出来まいかな、姉だ」

「ア、ソーレワヤ、鎌倉の御所、館はな二階づくりでな、八つ棟

「ア、ソーレワヤ、七つ八つ棟をな、上げてな、二階づくりでな、八つ棟

「ア、ソーレワヤ、鎌倉の御所のな、ごんご（奥方）はな、五月染めたるな、かたびら

「ア、ソーレワヤ、肩や裾は蓬やな、しもは菖蒲でな、前は皐月でな、卯の花

「ア、ソーレワヤ、今日のや陽はな、昼にな回るが、小屋持がな、遅さよ

「ア、ソーレワヤ、昼持が、ことかいてな、今日から、女子をな、かい下し

「あたいの嬢の女子を、誰が、ヤレナヤ、でど（入口）には女子をな、立て置く

「ア、ソーレワヤ、絹をとりて機にな、織りてな、綾錦の袴

をな、たち織な

○するす礪き（粉すりの表現）

□ 上

「これのお台所を見渡せば、げんこのう礪きの粉俵、千も二千もあるとの御意、皆はなるまいが、ものの小半分も礪いて呉れることは出来まいかな、姉だ」

「たんだ礪けく、ひかねばならぬ、するすの立木が折れるとも、しようがいな

「ア、おん落こそ

□ 上

「礪いてく礪きちらかしては置かれまい、山形箕の腰の丈夫なのをもって、ブワリブワリと吹いて呉れることは出来まいかな、姉だ」

「さんご殿（娘）はな、つくづく見れば、おさんこくくエ

「従姉妹、年な、恥しやな、従姉妹、ほんに添えてば、オサンコくくエ

「おはつれ、ヤレンナ、なかくオサンコ、オサンコエ

次号に続く

※引用 中山町史 中巻 第10章第4節 民俗芸能と娯楽

私たち地域おこし協力隊です！ No.88



本年もどうぞよろしくお願いたします。

中山暮らしの冬も3回目を迎えました。雪かきのコツもつかみ、車中にミニスコップと雪はきワイパー、スキー用手袋を常備し車で町外への移動もチャレンジ！ 昨年までは雪が積もったのを見るだけで、雪道の運転が怖くて行動できず、行きたいところにもなかなか行けなかったのですが、今期は恐怖心を払拭して、慌てず落ち着いて、気持ちに余裕を持って運転して出かけてみようと思います。この雪かき3点セットを家族が『美恵子の雪国暮らし三種の神器』と名付けてくれました。中山暮らしの報告を楽しんでくれています。離れていても、心でつながっている感じがうれしいです。

以前は『チャンスの神様は前髪しかない』という言葉を肝に置き仕事をしてきました。できるできないではなくやるかやらないか、で行動していたのに年を重ねて少し臆病になっていたことに気が付きました。今年からは進化した私を信じて自分らしく、再びいろいろなチャンスを掴んでいきたいと思っています。

中山町地域おこし協力隊活動報告会を3月8日に開催します。ぜひご参加ください（詳細は後日チラシを配布します）。



阿部美恵子

出身地：栃木県鹿沼市
趣味：高校野球観戦

●協力隊への問い合わせ先● 阿部 ☎662-4271（総合政策課）